

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 5号機における
廃材を詰めたドラム缶の落下について

平成 17 年 3 月 10 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

本日、定格熱出力一定運転中の 5 号機において、タービン建屋で使用済燃料貯蔵プールの燃料ラック取替作業で発生した廃棄ラックの減容処理作業の一環として、減容したラック廃材を詰めたドラム缶を吊り具を使ってタービン建屋 2 階から同建屋 1 階に下ろす作業を行っていたところ、本日午前 9 時 44 分頃、吊り下げていたドラム缶 1 本が吊り具から外れて落下（落下高さは約 11m）する事象が発生しました。これによって当該ドラム缶が損傷し、内容物（ラック廃材）の一部がドラム缶外に出ました。

原因については現在調査中です。

この事象に伴う作業者の負傷および身体汚染はありません。

なお、これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

(参 考)

- ・ドラム缶：内径 567 mm × 内高 830 mm（JIS 規格品）
- ・重 量：約 470kg（内容物含む）
- ・内 容 物：使用済み燃料ラックの廃材（金属板）
* 約 30 枚の金属板（大きさは各々異なる）が入っていたが、
内 9 枚がドラム缶から出た
- ・放射能量：ドラム缶から出たラック廃材等の放射能量は約 5×10^4 Bq



落下したドラム缶の状況（中央）